



○他のゲームを見て、自分たちの作戦に生かすなどゲームを見る目が養われると共に、チームで作戦に生かすなど深い学びに繋がった。



〈5年生の成果〉

- ルールを工夫したことで、ほとんどの児童がボールに触れることができ、楽しくプレーすることができた。
- 自分たちのチームや相手チームの特徴にあわせて、作戦を考え実践することができた。



### 【楽天未来塾】

講師 楽天ジュニアコーチ 後藤 光尊氏

(1) バッティング体験

(2) 講話「夢や目標に向かって」

- ・夢や目標を持つことの大切さ。
- ・目的と手段を考えること。
- ・今を大切にすること。
- ・今できることを一つ一つ積み重ねること。
- ・様々な学びや体験をポケットにたくさん詰め込んで魅力ある大人になってほしい。



〈事業の成果〉

トップアスリートの夢の実現（自己実現）への話を聞き、自ら目標に向かって努力しようとする心情を育むことができた。また、トップアスリートの技を間近に見ることでスポーツのすばらしさを経験することができた。

### 【トップアスリート講演会】

講師：三浦洋希選手（日清食品陸上部）

※本校卒業生 都道府県対抗駅伝（16年度宮城県選抜アンカー）

(1) 講話（5・6年生対象）

- ・夢や目標をもって頑張ること
- ・目標をもつことで、その競技だけでなく、日頃の生活も変化してくる
- ・夢の実現に向けて小さなことの積み重ねがとても大切である  
(規則正しい食事や気持ちよい挨拶など)
- ・今は東京オリンピックに出場することを目標に努力している。

(2) 陸上教室（全校児童）

- ・模範走法
- ・6年生12人の選抜メンバーとの1500m競争
- ・正しい走り方（フォーム）
- ・三浦選手と一緒に走ろう



〈事業の成果〉

講師のアスリートが本校の卒業生ということもあり、全校児童が大変興味・関心をもって陸上教室に参加した。走ることの楽しさ、目標をもっていろいろなことに挑戦しようという意欲を育むことができた。

【ふれあい陸上教室：4年生】

クイーンズ駅伝出場チーム ヤマダ電機

(1) アップ（準備体操・体幹運動等）

ヤマダ電機の選手を手本に、ジャンプやバービー、体幹トレーニングを実施

(2) 鬼ごっこ（手つなぎ鬼）

ヤマダ電機の選手を鬼にした手つなぎ鬼（3分間）



(3) 正しい走り方クイズと模範走法

(4) 選手と一緒に折り返しリレー



〈事業の成果〉

ヤマダ電機の選手の皆さんとの交流活動を通して、体を動かすことの楽しさや、一流選手の走るフォームなどを間近に見たことにより、スポーツへの関心を一層高める機会となった。

また、これまでの活動を通して、児童自身も、夢をもち努力しようとする気持ちをもつことができた。

★スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

【パラリンピックスポーツ体験（シッティングバレーボール：6年生）】

(1) 国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」の活用

①パラリンピックの種目について

②競技をする上での工夫

③パラリンピックの歴史

④パラリンピックの意義

(2) 種目体験をしよう

「シッティングバレーボール」

①床におしりをつけたままパスの練習



【パラリンピックスポーツ体験（ボッチャ・ゴールボール：3年生）】

(1) 国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」の活用

- ①パラリンピックの種目について
- ②競技をする上での工夫
- ③パラリンピックの歴史
- ④パラリンピックの意義



ボッチャ



ゴールボール

(2) 種目体験をしよう

※パラスポーツについて、詳しく調べた児童も多数いた。

〈活動の成果〉

児童にとって初めて体験する種目であったが、様々な不自由さを感じながらも、一生懸命ボールを追いかけたり、的に向かってボールを投げたりスポーツのもつ楽しさを味わうことができた。

★日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

【ジャック オウ ランタンづくり：5年生】

ハロウィンにあわせて、外国語指導員（ALT）の協力を得て、本格的なランタン作りを行い、外国の文化に触れることができた。



【「世界の国からメッセージ」：2年生】

各国の代表的な挨拶や、歌、踊りなどを紹介

(イギリス・フランス・アメリカ・ロシア・ニュージーランド・日本)

- ・万国旗をステージに掲示
- ・最後は、2020東京オリンピックに向けて「五輪音頭」を披露
- ・世界の国々への関心を高め、東京オリンピックの開催を大きくアピールした。



【餃子でニーハオ：あけの平小学校児童及び保護者】

中国に数年、滞在した経験のある本校職員を講師に、異国の食文化に触れ、日本との食べ方の違いに関心をもち、一層世界の文化に目を向けるきっかけとなった。

(参加児童の感想)

上手にできたので、家でも挑戦したい

(指導者の感想)

水餃子というなじみのあるものでも、食文化の違いを感じられたのではないかと思います。



〈活動の成果〉

いろいろな国の文化に触れ、外国に関する関心を高めることができた。

【日本の伝統文化を体験しよう（生け花・茶道・百人一首：6年生）】

- ①一人一人が剣山の代替品のオアシスに、思い思いに花を生ける活動を行った。友達の商品と見比べながら、思い思いに個性的な作品を完成させた。
- ②茶道の基本所作を理解しながら、茶道の歴史、所作の意味などを踏まえ、一人一人がお茶を点てて試飲した。自分たちで初めて点てたお茶は苦いながらも美味しく飲み干していた。
- ③百人一首は4年生のときに体験しているので、スムーズに活動に取り組むことができた。和歌の意味を一首一首確認しながら、楽しんで取り組むことができた。



生け花



百人一首



茶道

【児童の感想】

- 茶道や華道、百人一首を体験しました。楽しかったので外国の人にも紹介してみたいと思いました。
- 将来、外国の人に会ったら、日本にはこういう伝統文化があることを教えたいです。
- 生け花は同じ花なのに、生け方で全く違う雰囲気になるのがとてもすてきなあとと思いました。
- お茶は難しかったけど、日本人っていいなあとと思いました。

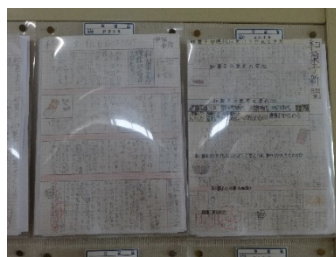
〈活動の成果〉

初めて体験する児童も多かったが、伝統文化に触れることにより、改めて作法の難しさや、おもてなしをする心などに気付くことができ、よりよい体験活動になった。

【世界の国調べ：4年生・和菓子調べ：5年生】

国語や総合的な学習の時間の一環として、5年生では和菓子についての調べ学習を行った。日本古来のお菓子について調べることで、日本の文化を改めてしるきっかけとなった。

また、4年生では児童一人一人が興味をもった国々について、様々な視点で調べとめる活動を行った。まとめを発表することで、それぞれに調べた国々を共有し、世界へ目を向けることができた。今後、国際交流として、県内在住の外国の方との交流も計画していきたい。



国語：和菓子について調べよう



総合：世界の国々について調べよう

## ★ボランティア精神の育成

### 【飯館雪っ娘カボチャ栽培（草取り）】

富谷市「スイーツ博覧会」にあたり、被災地支援の一環として福島県飯館村のブランドカボチャ「飯館雪っ娘」の栽培に取り組んだ。畑で育てていたカボチャも、児童の自主的なボランティアのおかげでたくさん収穫することができた。収穫したカボチャは市の産業振興課の方に渡し、10月28日に開催された「とみやスイーツ博」のお菓子（はちみつのカボチャタルト）の原料として使用され好評を博した。



### 【6年学区内公園清掃】

春日頃、学校支援ボランティアさんや、地域の方の安全見守りに感謝の気持ちを表すとともに、自分たちにできることは何かと考え、ボランティアとして、地区内の公園清掃活動を行った。



### 〈活動の成果〉

様々なボランティア活動を通して、自分たちにできることは何かを積極的に考えるようになり、身近にできる、自分たちでもできる小さなボランティア活動に意欲的に取り組むようになってきた。

### 【★その他】

○掲示物の工夫

○オリンピック・パラリンピック関連図書の購入

○マスコット選定に係る投票への参加



掲示物の工夫



関連図書の購入

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <p>6 主な成果</p>                   | <p>○校内研究としても体育科に取り組んでおり、進んで運動する児童の育成が図られ、校庭で遊ぶ児童も増加し、体力の向上も図られた。また、運動好きになるとともに、一流選手とふれあうことで、自ら地域のマラソン大会等に参加する児童も増えた。</p> <p>○3年生の総合的な学習について、福祉をテーマに学習しているが、実際にパラスポーツを体験したことで、パラスポーツについてテーマをもち、調べ学習に取り組む児童が多く、パラスポーツへの関心を高めることができた。</p> <p>○様々な日本文化を体験することで、今まで知らなかった作法等を理解し、日本再発見に繋がった。</p> <p>○ボランティア活動を継続して行ったことにより、自分たちから進んで活動する児童が増加した。</p> <p>○校内研究で体育に取り組んだり、パラスポーツ体験を積極的に行ったりしたことで、児童のみならず、教員の意識化が図られた。そのため、マスコット投票の活動でも、教員が率先して取り組み、各クラス楽しく話し合い活動を展開しながら候補を選ぶことができた。</p> |
| <p>7実践において工夫した点<br/>(事業の特色)</p> | <p>○オリンピック・パラリンピック教育を新たに年間計画に取り入れることはなかなか困難であるが、現在実施している教科や総合的な学習の時間、道徳などにオリパラの価値を意味づけ取り組んだ。</p> <p>○県や市の事業を有効に活用することで、オリパラ教育との関連を図った。</p> <p>○掲示物等を工夫することで、教員及び児童への意識の啓蒙を図った。</p> <p>○活動を学校便り等でお知らせすることで、保護者の理解を図った。</p> <p>○オリンピック・パラリンピック関連の図書を購入し、調べ学習に活用した。</p>   |
| <p>8主な課題等</p>                   | <p>○既存のカリキュラムにオリパラ教育を意味づけて取り組んだため、オリンピックの教育的価値については十分指導することができなかった。年度当初に確実に計画に位置づけることが必要であった。</p> <p>○オリンピックやパラリンピックの講演は大変有効であるが、講師選定等ある程度の人脈がないと難しいと感じた。これらの方を招聘するための窓口があるとよいと思う。</p> <p>○一つ一つの活動は大変意味深く、内容の濃いものであったが、それぞれが独立したものであった。オリパラをキーワードにそれぞれの活動を線で繋ぐ必要があった。</p>  |
| <p>9来年度以降の実施予定</p>              | <p>指定校の希望なし</p> <p>※学校独自で今年度の活動を継続する。</p>  |